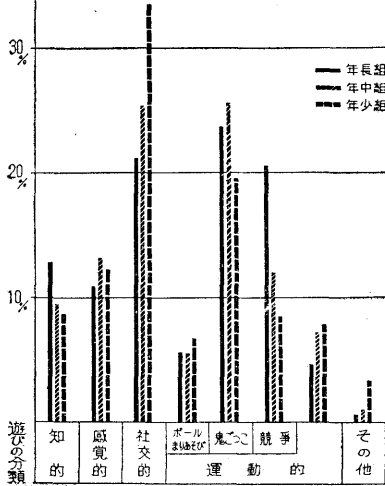


よくする遊び、好まれる遊び



遊びの種類を追求したい。

つづき代表的な遊びの個々について、身体的、心理的発達的面より子どもの興味を分析し、具体的な指導方法を追求したい。

集団遊びについての問題点	幼稚園 %	保育園 %
広い場所がほしい	31.4	28.7
自由につかえる場所がほしい	7.5	7.1
能力差(年齢差)があり困る	9.3	14.3
人数が多すぎて困る	3.7	8.6
消極的で参加しない子の指導	9.3	25.7
リーダーばかりになりたがる子の指導	7.5	4.3
協力がなくルールを守らぬ子の指導	5.5	4.4
遊びが常にかたよる	3.7	2.9
勝負にとらわれる	1.9	1.4
遊びの種類をたくさん知りたい	9.3	9.7

り、それ故その指導方法の研究の必要性を痛感する。

(四) 個々の遊びに対する興味は年齢により差がみられるから、その与え方、人員構成など考慮する必要がある。また先生の与える遊びと子どもの好む遊びとは高度の相関を示すから、教師は適当な遊びを豊富に用意したいものである。

(五) 今回は一般的傾向を把握するための実態調査にとどまったが、ひき

幼児のグループ形成に関する

一 考察

平安女学院短期大学 片岡 靈 恵

用語の定義について グループ形成という用語を、主として、教師がある意図をもって幼児の生活を指導する一方法として考えた。

研究の目的、研究の方法、対象、期間、教師の与えたグループ構成

プリント参照

自然発生的グループの構成 自然発生的ということばについて

ソシオグラム

結論的考察 教師が、幼児のグループ形成を助けることの可否についてに重点をおいて、考察の結果をのべる。すなわち、第一に、幼児たち相互の選択と結びつきは、教師の観察を超えたものがしばしばみられる。殊に、二年三年と在園する子どもたちは、自然に、かしこい選択をし、グループ生活を楽しむ能力を備えている。そして、第二には、教師のかしこい配慮によるグループ形成は、お互いをよく知らない時期には適宜におこなわれるべきであろう。

評価 自由活動場面におけるグループ、すなわち、遊びのグループの観察が出来なかつたため、比較が出来なかつたこと、ソシオメトリックテストが不完全であったこと。

幼児の集団組成からみた

男女差の問題

広島・やわらぎ学園 樋口三紀子